

事業所名：デイサービス TRY studio

運 営 推 進 会 議 等 開 催 報 告 書

開催日時 令和 6 年 7 月 30 日（火）16 時 15 分～16 時 40 分		
参 加 者		議 題
利用者	0 名	1. 2023 年 11 月から 2024 年 5 月の利用実績報告 2. 人員体制 3. 感染予防、災害対策について 4. 事故・苦情などの報告 5. BCP 策定状況の報告 6. 高齢者虐待対策に関する報告
利用者家族	0 名	
地域住民の代表者	1 名	
市職員	1 名	
地域包括支援センター職員	1 名	
事業所	1 名	
会 議 録		
1. 2023 年 11 月から 2024 年 5 月の利用実績報告（添付資料参照） 午前はほぼ満員。午後も着実に増えてきている 男女比はほぼ半々というのが事業所の特徴となってきた。		
2. 人員体制および活動報告 ＜人員体制（登録数）＞ 午後も開始したことにより介護職員および看護職員を増員した。 ＜活動報告＞ 日々の活動の流れについて写真を用いて説明を行った。		
3. 感染予防、災害対策について ＜感染予防対策＞ 利用者来所時における検温および手指消毒の実施、サービス利用中におけるマスクの着用、随時の換気による、新型コロナウイルスをはじめとした感染予防対策を実施。 ＜災害対策＞ 防災訓練の様子を写真を用いて説明した。発見から避難までの時間は約 3 分 30 秒であった。終了後の職員アンケートにて良い点だけでなく、悪い点・改善点などが出たため、次回開催に向けて改善していく予定。		
4. 事故・苦情などの報告 3 件、転倒などの事例があり、現象とそれに対する対策について報告した。		
5. BCP 策定状況の報告 研修に参加したことで、さらなる改定が必要となることが分かった。 職員への伝達を通して、職員全員で作り上げる形にしていく。		
6. 高齢者虐待対策に関する報告		

現時点で当事業所で関連する報告はないが、今後も発生しないように研修等を通して、周知徹底を図っていく。

<質疑>

疑) コロナ感染者は出ているか？事後報告等の方がいたか？

回) 感染者は数名いたが、自宅で体調不良を訴え発覚。利用者と直接接するような機会はほとんどなく、利用者判断でお休みを取れているため、感染拡大に至ってないと思われる。事後報告等はなかった。

疑) BCPにおける備品についてはどの程度準備できているのか？

回) 80%程度できている。デイ特有の問題である送迎できず帰れない利用者に対する備品について再度見直しが必要。また各事業所と情報共有図りながら、進めていきたい。

疑) 体験からの成約率が60%は高いのか？

低いのか？

回) 一般的に成約率50%を目指すことが目標と言われているため、比較的安定して高いと感じている。引き続き、選んでいただけるようサービスを提供していきたい。

次回開催予定：令和7年1月頃。